

第九回

祈り

響きの空間

天台聲明とチエンバロ

てんだいししょうみょう

聲明

三人の天台宗僧侶

チエンバロ

岡田龍之介

日時
会場

2016年 6月26日(日) 午後3時30分より
天台宗 平林山 千手院 客殿

主催

天台宗 平林山 千手院
(株)方向舎

Program

前半

- G.フレスコバルディ(1583-1643) カンツォン 第三番
(護摩祈願始まる)
- 四智梵語讚 (シチホンゴサン) (『金剛頂経』が出典。梵語とはサンスクリット語)
- 四智漢語讚 (シチカンゴサン) (四智とは仏に備わる四つの智慧)
- 諸天漢語讚呂曲 (ショテンカンゴサン ロキョク) (『仏母大孔雀明王経』の経文 諸天を讃嘆する曲)
- F.クーブラン(1668-1733) 恋のナイチンゲール

休憩 後半

- 供養文(クヨウモン)
法華懺法(ホッケセンボウ)という行法中の経文
- 九方便 (クホウベン)
『大日経』の中の経文 人々を教化する方法を説く
- 仏讚 (ブツサン)
胎蔵界曼陀羅供法という修法の中で唱える声明
- J.S.バッハ(1685-1750)
アンダンテ へ長調
- J.Ph.ラモー(1683-1764)
ジークによるロンド、サラバンド
- G.B.プラッティ(c.1690-1763)
ソナタ 第三番 へ長調
- F.クーブラン
魅惑
- W.バード(1542-1623) Ph.トレジャン卿のパヴァーヌ
- 諸天漢語讚律曲 (ショテンカンゴサン リッキョク) (呂、律は音の高さ、調子の違いを表す)
- J.S.バッハ/A.マルチェッロ アダージョ ニ短調 BWV974

本日演奏する作品は17、18世紀バロック時代に作曲されたチェンバロのための作品です。シンプルで民謡のような曲から優美で装飾的な作品に至る様々なキャラクターの小品が登場します。チェンバロはピアノが登場する以前の花形鍵盤楽器ですが、その音色は銀の鈴の音に例えられるほど繊細かつ密やかなものでした。人に聴かせるというよりは自身の愉しみ、心の慰めといった趣のこれらの作品には、チェンバロの透明な音同様、聴く人をほっとさせリラックスさせる性質が潜んでいるように、私には思えます。チェンバロの音による静かな語りかけは、宗教的な祈りにも通ずる不思議な魅力と敬虔さを持っている、とも表現できるでしょうか？

プロフィール：岡田龍之介

慶応義塾大学経済学部、東京藝術大学楽理科卒業。1986年同大学院修了。
音楽学を角倉一朗、チェンバロを有田千代子、渡邊順生各氏に師事。またW.クイケン、J.V.イマゼール、T.コープマン各氏にレッスンを受ける。全国各地の演奏会に出演し、国内外のバロック奏者との共演を通じてアンサンブル経験を深める一方、ソロ、教育活動にも力を注ぐ。

携帯電話などの電源はお切りください

ご案内 演奏前、終演後に、高橋先生による境内の樹木・山野草の案内があります。ご参加ください。
境内の樹木を材料とした樹木染め作品の熊本震災チャリティ販売。
護摩供養の樹木灰を釉薬として利用した荒船焼の陶器のチャリティ販売。
観音堂内に歴史を刻む絵画、俳画の復興とレプリカ販売。
コーヒーとクッキー販売があります。